

第24回 両性の平等に関する委員会

両性の平等に関する委員会委員長 道あゆみ (47期)



両性の平等に関する委員会は、その名のとおりに「両性」、つまり女性、男性（近時はそのいずれかにカテゴライズできない性を含めた）、全ての性の平等を考え、研究し、議論する委員会です。ただ、ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、かつては、女性の権利に関する委員会（いわゆる「女権」）と名乗っていたこともあって、少なくともこれまでは、女性の人権、具体的には、女性に対する雇用差別やセクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンスといった問題を、主に扱ってきました。

「女性差別」というと過去のこと、と思われる方も少なくないかもしれません。正直、最近では、この言葉を真正面から使った議論や研究には、頻繁に出くわさなくなりました。しかし、経済格差が拡大し、セーフティネットが瓦解し、少子高齢化が進み、国や社会の将来が見えにくくなった現在こそ、実は、女性の生き方、働き方の問題が改めて問われる時期なのではないか、とも感じます。こうした問題意識から、当委員会では、昨年、「派遣労働を女性の視点から考える」をテーマにシンポジウムを行いました。「貧困」や「格差」の問題が昨今のように取沙汰されるずっと前から、日本の労働市場において「女性はずっと貧困」を強いられてきたこと、そして近時それが解消されるどころか深刻化していることを問題提起し、派遣法改正の具体案を提言しました。

また、冒頭に説明したように、当委員会はなにも女性の問題を扱うだけの委員会ではありません。むしろ、女性も男性もその人らしく個性を豊かに発揮し、幸せに生きることのできる社会のあり方を考え、模索する委員会だと思っています。

そこで今年度は、ついに正面から男性の生き方の問題に切り込もうと、シンポジウムを企画しています。タイトルは、ずばり「この国のオトコは幸せな

のか」。当委員会が従来の殻を破り、タブーなしの議論に踏み込むために、敢えて刺激的なキャッチを選びました。シンポジウム開催の要領は下記のとおりです。自らフランスで子育てを経験したジャーナリストの横田増生氏、NPO法人ファザーリング・ジャパン（「ファザーリング」とは「父親を楽しむ」という意味だそうです）会員で、自身も日本で育児休業をとったつかごしまなぶ氏など、個性的なパネリストをお招きする予定です。男性会員はもちろん、多くの女性会員の皆さんに奮ってのご参加を頂き、そして大いに議論を盛り上げて頂きたい、と思っています。

本年度シンポジウム開催要領

開催日時：2010年1月16日（土）午後1時30分～

開催場所：弁護士会館2階 クレオA

テーマ：「この国のオトコは幸せなのか—たとえば、子育ての喜びと責任を分かち合うために」

パネリスト（予定）：横田増生氏（『フランスの子育てが、日本よりも10倍楽な理由』著者）、つかごしまなぶ氏（ファザーリング・ジャパン会員）他

最後に、当委員会では、現在、フレッシュな視点で議論に参加して頂ける新委員を募集中です。これまで「両性」の問題に関心があった方も、全くなかったという方も、是非とも委員会への参加をご検討下さい。心よりお待ちしております。

*両性の平等に関する委員会に関する問い合わせ先

全体委員会 毎月第3月曜日 午後4時～6時

担当事務局 人権課 TEL.03-3581-2205